

記入例

(表)

蓄電池

様式第7号(第10条関係)

実績報告書

令和6年8月30日

(宛先) 姫路市長

報告者 〒 670-8501

住所 姫路市安田四丁目1番地

訂正する場合は、訂正箇所に二重線を引き押し訂正ください。(修正テープ等不可)

フリガナ ヒメジ イチロウ
氏名 姫路 一郎
電話番号 079-221-2468
緊急連絡先 079-221-△△△△

令和6年5月25日付け姫路市指令環蓄第123号により補助金の交付決定(計画変 交付決定通知書の右上に記載された日付と番号を記入してください。 助対象事業を完了したので姫路市家庭用蓄電システム普及促進事業補助金交付要綱第10条の規定により、次のとおり実績報告します。

なお、本報告の手続について、下記の手続代行者を代理人と定め、その権限を委任します。

Table with 2 columns: 補助対象事業の内容, 手続代行者. Rows include: 設置場所 (姫路市安田四丁目1番地), 設置住宅の所有者名 (姫路 一郎), 設置区分 (3 新築住宅), 蓄電システムの蓄電容量 (3.50 キロワットアワー), 工事請負契約事業者 (2 連携市町内), 補助金の申請金額 (70,000 円), 工事着工日 (令和6年6月10日), 工事完了日 (令和6年7月30日).

設置場所が申請時と異なる場合は、裏面の「2備考」に理由を書いてください。

蓄電システムの型式、容量が変更になった場合、工事着工前に計画承認申請が必要です。なお、計画変更により出力が増加しても、補助金交付申請額の増額はできません。

工事着工日は、交付決定日以降の日付を記入すること。

(裏)

1 太陽光発電システムの概要 ※新設の場合のみ、記入

(1) 製造者名 (メーカー名)	パナソニック株式会社																		
(2) 太陽電池モジュールの型式名	VBHN252WJ01																		
(3) 太陽電池モジュールの公称最大出力と使用枚数	①	2	5	2	・	0	w	×	2	0	枚	=	5	0	4	0	・	0	w
	②				・		w	×			枚	=					・		w
(4) 太陽電池の最大出力	合計	5	0	4	0	・	0	w	⇒	5	・	0	4	kw					

2 経費内訳

項目	金額欄 (円)							備考
(1) 蓄電システム機器	5	5	0	0	0	0		
(2) 付属機器	1	5	0	0	0	0		
(3) 設置工事に係る費用	2	0	0	0	0	0		
小計(システム設置費用) A	9	0	0	0	0	0		(1)+(2)+(3)

項目	金額欄 (円)							備考
(1) 太陽光モジュール	3	4	9	0	0	0	0	※「1 太陽光モジュールの設置種別」が「新設」の場合に記入すること。
(2) その他の費用	1	7	4	5	0	0	0	
その他の費用 小計 B	5	2	3	5	0	0	0	(1)+(2)

合計 A + B	6	1	3	5	0	0	0	交付申請時の経費内訳と異なる場合は、変更内容が分かる書類を添付し、「2備考」に理由を書いてください。
消費税	6	1	3	5	0	0	0	
契約書合計	6	7	4	8	5	0	0	

3 備考

※設置場所や経費内訳が申請時と異なる場合などに理由を記入してください。

<設置場所が申請時と異なる理由の例>

- ・新たに住居表示が設定されたため。
- ・建て替えにより玄関の位置が変わり、住居表示が変更になったため。
- ・土地の分合筆に伴い、住所が変更になったため。